

# 京都市外国籍市民施策懇話会 ニュースレター No.20

編集／発行：京都市外国籍市民施策懇話会事務局（京都市総務局国際化推進室）

## 2004(平成16)年度第4回会議開催

＜日時＞ 2005(平成17)年2月14日(月) 午後2時30分から午後5時30分まで

＜場所＞ エルファセンター(NPO法人京都コリアン生活センター エルファ,京都市南区)

＜議題＞ 外国籍市民の高齢者福祉問題について

会議に先立ち、在日コリアンの高齢者のためのデイサービス施設である「デイサービスエルファ」で高齢者介護の様子を見学し、その後エルファから活動内容と在日コリアンの高齢者が抱える問題について説明を受けました。

京都市の外国籍市民の約7割を占める在日韓国・朝鮮

人の方々も高齢化が進んでいます。在日韓国・朝鮮人の1世と呼ばれる方々は、生活のために日本語を学ばれた経緯がありますが、高齢化に伴い日本語を忘れることが少なくありません。こうしたことから、日本のデイサービス施設では、言葉や文化の違いから在日コリアンの高齢者の思いが通じないことや誤解が生じたりすることがあります。また、民生委員や老人福祉員などの円滑なコミュニケーションが図れていないことや、郵送されてくる年金や介護保険の通知もその内容を理解できず、結果として、行政サービスを適切に受けられていない事例が報告され、各委員が意見を交換しました。



### 民生委員とは

民生委員は厚生労働大臣から委嘱されており、それぞれの担当地域において、関係機関・団体やボランティアの方と協力しながら、福祉に関する相談・援助活動を行っています。民生委員の資格には国籍要件があります。

### 老人福祉員とは

主にひとり暮らしの高齢者を訪問し、安否確認や話し相手となっていたくため、現在1200人の方を民生児童委員協議会の推薦を受けて市長が委嘱しています。老人福祉員の資格には国籍要件はありません。





## エルファ理事長からの報告



在日コリアン高齢者が抱える問題に関心を持ったのは、80歳を過ぎた在日コリアンが、認知症のため、ある日突然日本語を話せなくなったという相談を受けたことからです。

介護保険制度が導入されるに当たり、多くの在日コリアンの高齢者、特に独居老人の訪問介護を始めました。日本語が読めない在日コリアンの高齢者は、介護保険制度等に関する通知が郵送されても、内容が分からずそのまま放置していることがよくありました。また、あるデイサービス施設を利用していた在日コリアンの高齢者が、他の高齢者と一緒に折り紙をすることになりましたが、日本の文化である折り紙を折ったことがないのに、ヘルパーから「何を折ってもいいですよ」と言われ、どうしていいか分からずにいると、耳が遠いと思ったヘルパーが大きな声でもう一度促したときに、皆の視線を一斉に浴び、突然パニック症状を起こしてしまったことがありました。

このようなことがきっかけとなって、韓国・朝鮮語と日本語ができる私たち2世が、在日コリアンの高齢者を支援していかなばと強く思いました。そして、在日コリアンの高齢者にとって、ふるさととの友がいて、ふるさとでの食事や歌や遊びがある介護が必要だと感じ、エルファでの取組を始めました。

エルファでは、現在、在日コリアンの高齢者を対象に、デイサービスや訪問介護などの高齢者介護事業を行っており、その他にも障害者支援活動、子育て支援活動、地域における異文化交流事業、在日コリアン1世からこれまでの生活の様子などを聞き、後世に伝えるための聞き取り調査に取り組んでいます。昨年11月には、障害者のための共同作業所と子育て支援施設としての「エルファセンター」を設立したところです。

これまでにエルファには学生や行政の方など多くの方に見学に来ていただいています。在日コリアンの高齢者たちが、誰に対しても明るく自然体で接していることにも驚いています。

在日コリアンをはじめ多くの外国人が生活している京都市において、外国籍の高齢者に対応できる施策が検討されることを望んでいます。





## 各委員の主な意見

- 中国残留邦人で帰国をされた方には、日本国籍の人が多いが、日本の言葉や文化になじめない人も多い。このように、高齢者問題といっても、多様な生活背景を持つ人々がいることから、食生活や遊び、歌など文化や生活様式の違いを考慮して施策を考える必要がある。
- 日本語が理解できない高齢外国籍市民は、デイサービス等の介護施設を利用して、も状況を正しく理解できていない。また、高齢者にとっては話し相手がいるということが大変重要であるが、言葉が大きな障害となっている。
- デイサービスセンターの見学をして、自分の家族や親類のことをよく知らない老人が多かった。儒教の影響の強い韓国・朝鮮人も在日コリアンの社会では家族関係が希薄になっている。
- ひとり暮らしの高齢外国籍市民には、高齢外国籍市民福祉給付金制度のような福祉制度について知らない人がいる。また、読み書きができないため文書で通知された情報を理解できない人もいる。直接面会して情報を伝えるなど、状況に応じた情報伝達の方法が必要だ。
- エルファのようなNPO法人が積極的に高齢外国籍市民の支援活動を行っているが、税制面での優遇策などがなく、財政的に厳しい状況におかれている。行政の取組を補うこのような団体を支援する制度が検討されるべきだ。
- 介護保険の第1号被保険者の保険料について、老齢福祉年金受給者で本人及び世帯員全員が市民税非課税の場合は、最も安い第一段階になっているが、外国籍市民の一部は制度上の理由で無年金になっているにもかかわらず、老齢福祉年金を受給していないために、第二段階の保険料を支払わなければならない場合がある。何らかの対策を講じることはできないか。
- 日本語によるコミュニケーションに支障のある高齢外国籍市民に対応するため、外国語、特に韓国・朝鮮語の話せる人が社会福祉の現場に必要なになっている。そうした人材を広く登用し、活用することで多くの高齢外国籍市民に対応する必要がある。
- 京都市は今後、外国籍市民の高齢化が進むと思われるが、高齢外国籍市民が一堂に集まることができる施設があれば、外国籍市民も安心して生活できると思う。



## 訪問させていただいたエルファとは?

NPO法人京都コリアン生活センターエルファは、在日コリアンの方々が集住する南区に拠点を置き、現在の福祉制度では対応できていない文化や言語の違いに配慮したデイサービスや訪問介護などの高齢者支援活動を行ってられます。

また、在日コリアンの障害者を取り巻く社会状況や福祉制度を学ぶ勉強会の開催や、自立支援のための共同作業所を運営するなどの障害者支援活動を行うほか、学校の放課後に子どもたちが集まり、一緒に勉強したり遊んだりして、異文化交流を行うことができる子育て支援センターを開設するなどの子育て支援活動も行ってられます。

### ■NPO法人京都コリアン生活センターエルファ事務局

〒604-8571 京都市南区東九条北松ノ木町12 Tel075-693-2550 Fax075-693-2555  
http://www.h2.dion.ne.jp/~lfa

#### デイサービス 施設

- デイサービスエルファ (京都市南区東九条北河原町5)
- デイサービスハナマダン南京都 (宇治市伊勢田町ウトロ51)
- デイサービスハナマダン洛北 (京都市北区小松原北町60-3)

## ●事務局からのお知らせ●

今年度は、日本と外国における多文化共生社会の実現に向けた取組の比較や、地域社会における外国籍市民と地域住民との交流の在り方、また、留学生・就学生などの外国人学生の問題等について審議する予定です。

会議は誰でも傍聴することができます。会議に関する御意見、御感想がありましたら事務局までお知らせください。

懇話会ニュースレターのバックナンバーを御希望の方は、下記までお問い合わせください。

### 京都市外国籍市民施策懇話会事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地  
京都市総務局国際化推進室  
TEL075-222-3072 FAX075-222-3055  
ホームページ: http://www.city.kyoto.jp/somu/kokusai/  
Eメール: kokusai@city.kyoto.jp